

対カンボジア有償資金協力 シハヌークビル港多目的ターミナル起工式典開催

5月1日（金）、シハヌークビル港に於いて、公共事業運輸省主催 シハヌークビル港多目的岸壁の起工式が開催されました。

我が国は、1999年以降、シハヌークビル港の港湾施設の修復・建設のための資金協力、並びに港湾管理・運営の効率化のために技術協力を行ってきており、本プロジェクトはこれまでの日本の協力を基礎として、シハヌークビル港の施設を更に充実させるためのものです。

本プロジェクトは、取扱貨物量の増加と多様化が続くシハヌークビル港において、船舶の大型化に対応するための岸壁、石油採掘基地の支援用岸壁、それらの船舶が航行するための航路を建設するものです。同式典にはシハヌークビル港湾公社関係者をはじめ1000名以上が参加しました。

式典では冒頭、隈丸大使が「日本の協力により、カンボジアの経済成長を背景にした貨物増加への対応と石油掘削という新たな需要にしっかり応えるものとなるよう期待する。」と述べました。

続いて、キアット・チョン副首相が、日本国民及び日本政府に対する謝意を述べたうえで、「石油採掘の資機材供給基地の建設はカンボジアの港を多様性とさらなる能力を持った施設とし、競争力を強化するとともに、水深-13.5m岸壁により大型船舶の寄港が可能となり、カンボジア農産品の輸送が広がることとなる。」と述べました。

挨拶の後、隈丸大使とキアット・チョン副首相により、航路浚渫の開始ボタンが押されました。その後、港湾施設を視察するなど、式典は和やかな雰囲気の下に終わりました。



写真-1 隈丸大使のスピーチ



写真-2 キアット・チョン副首相のスピーチ



写真-3 起工式



写真-4 港湾施設の視察